

東京

「其の田」暮らし

＝ドイツ編＝



初めての左ハンドル その2

さてヨタヨタと動かしながらバーデン・バーデンに向かいます。アウトバーン（高速道路）を使うのですがルートはほぼ一本道。地図を購入できなかったので前の晩旦那さんに手伝ってもらってインターネットで下調べをしてわかったのです。ありがたいことに借りた車にはナビが付いていました。そこで住所を入れたら自動ルート検索してくれるのは分かるのですが、すべてドイツ語。その上操作がよくわからない！ ですがあきらめず（実は半分あきらめかけてレンタカー屋で聞こうかと相談した）義母、旦那さんの3人で試しているうちに無事住所を入力、出発することができました。ナビはもちろんドイツ語しか話しません、面白いことに2泊3日の旅を終え帰るころには3人ともナビが言っていることが分かるようになったのです。

日本の高速道路では、スピードの遅い車は左を走り、早い車は右側を走っています。ドイツではこれが逆になります。右側を遅い車や重量のあるトラックが走ります。アウトバーンは何キロ出しても良いと言われていますが、大体の制限速度は120kmと出ているところが多かったです。私は右側をトラックに挟まれて走っていました。帰りは二十台くらいのトラックが追い越してきました。カメラを忘れたので写真がなくて残念ですが、バーデン・バーデンに近づくにつれ高速道路の感じや前から迫ってくる山、緑の濃さが名神高速に乗って大阪方面から京都に向かう道に良く似ているのです。思わず「うわー京都や！ 懐かしいなあ」と言いながら運転していました。バーデン・バーデンは「黒の森」の中にあるので、

ドイツの他の地域より緑が深いのでそう思ったのかもしれない。ドイツの街中では感じないのですが、高速道路の感じ、標識の使い方が日本ととても似ていました。旦那さんが言うところ



まだ10月と言うのに今朝から初雪が降りました。すでに3cmくらいもついています。サマータイムも明日で終わり、本格的な冬になります。(10月27日)

ろによると日本の高速道路はドイツをお手本にしたのだそうです。どうりで親近感があつて走りやすいと思った。とは言え細い場所で緊張したり、よそ見をするとすぐに右寄りになってしまいました。・・・またトンネルの分岐点を路肩と違って止まろうとしたり、帰りの出口を間違えパニックになったりと同乗者をハラハラさせることもありましたが、無事家まで帰ることができ私の運転デビューは終了したのでした。久々に緊張した時間でした。

PUKIPUKI・N

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株) ファッションビジネス・御堂筋新聞